

株式市場概況

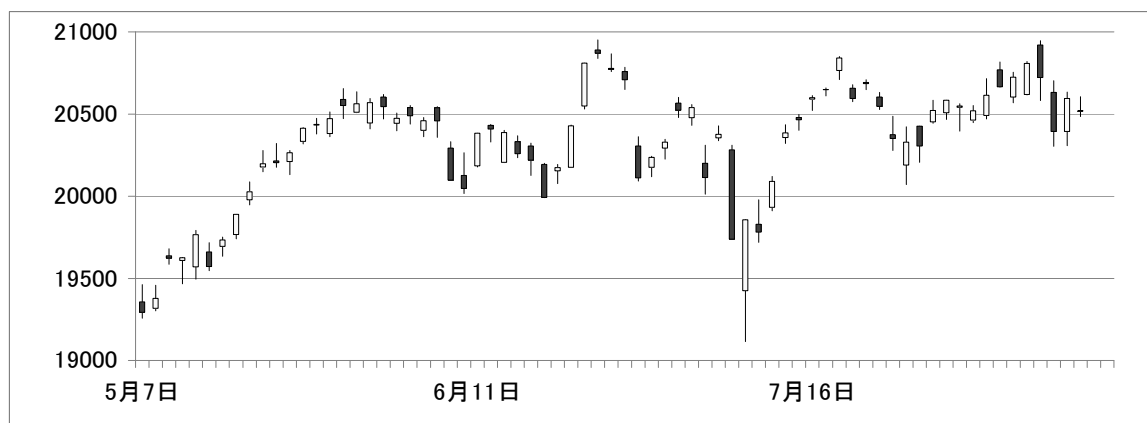
先週の動き（8月17日～8月21日）

中国経済の減速が、世界経済に与える負の影響に対する不安は依然強く、その影響で日米欧の主要国の株価も大幅に下落した。

リスクを避ける動きから、週末にかけては円高ドル安の動きとなりドル円は122円台に乗せた。日経平均株価は前週末比-5.28%の1万9,435円と、約3ヵ月ぶりに週末の終値で2万円を割り込んだ。

17日に発表された日本の4-6月期の年率実質GDPは-1.6%（予想-1.8%・前回3.9%⇒4.5%）と、表面上は予想ほどの悪化は無かった。しかし、民間消費と企業の設備投資の今後成長が期待されている二つの成長率が予想を下回り、「経済の好循環」に至っていないことが不安視された。

日経平均株価(2015年5月7日～)



全てのセクターが下落した。下落率上位は保険、その他金融、銀行と金融関連が並んだ。郵政3社の上場が前週発表されたことから、金融系銘柄の換金売りが積極化した。下落率が小さかったのは海運、パルプ、繊維など、ここのところ堅調なものだった。

スタイルインデックスも全て下落となったが、REITは-1.17%と下落幅が小さい。REITは年初の高値から約20%下落しており、先に調整していたことと、長期金利の低下により投資しやすくなっていることが理由として挙げられる。下落率トップはマザーズ指数だった。来週のマザーズ市場における大型IPOを控え、換金の売りが出たと見られる。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)		
海運	-1.81%	保険	-9.83%	REIT指数	-1.17%
パルプ紙	-2.09%	その他金融	-7.16%	東証2部	-3.50%
繊維製品	-3.38%	サービス業	-6.43%	コア30	-4.98%
卸売業	-4.08%	鉱業	-6.22%	TOPIXスモール	-5.04%
その他製品	-4.13%	精密機器	-6.21%	TOPIXバリュー	-5.57%
建設業	-4.24%	機械	-6.19%	TOPIXミッド400	-5.71%
				TOPIXXL70	-6.08%
				日経平均株価	-5.28%
				マザーズ	-6.17%
				TOPIXグロース	-5.42%

今後の注目点

9月のFOMCにおける政策金利の引き上げの可能性は低下した。しかし、近い将来行なわれるであろうという見通しは変わらない。そのため、FRBから供給された資金が近く減少することに備える動きが継続している。また、多くの投資家が夏休みを取っており、一方向に相場が流れ易い。そのような環境下で、中国の通貨政策の変更のような材料が出たため、株価は下落している。

7月のギリシャの財政問題の時と同じく、日経平均が1万9千円から2万1千円にすぐに戻すと見る向きが多いが、そうはならないだろう。2万円近辺で買って、利益を得るという取引を繰り返している投資家が多いため、今回はそれが重荷になると考えられる。目先の需給が悪いため、1万9千円を割り込むと、大きな売りが出る可能性がある。

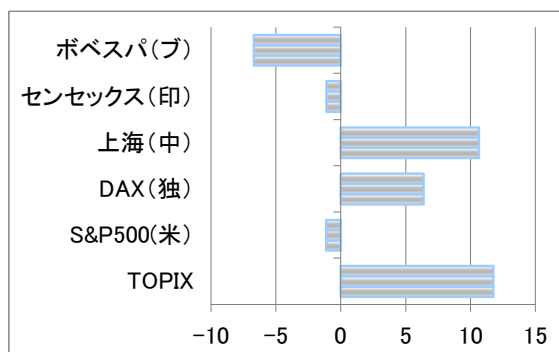
しかし、そのまま株価が下がるかという点、そうはならないだろう。第一に、日本のMRFには12兆円と大きな残高がある。そのため、レンジが切り下がれば、これまで高いと見て買えなかった投資資金が市場に流入する可能性が高い。

また、日本企業の決算内容は良く、他の国の株を売って日本株を買うという流れは継続すると見られる。直近の決算発表内容は、どの国よりもアナリスト予想からの上方乖離率が高い上、バリュエーションもそれ程高くない。その上、財政政策が多めに打たれているというのも、世界における強みであり、下値は積極的に買う投資家が多いと見られる。

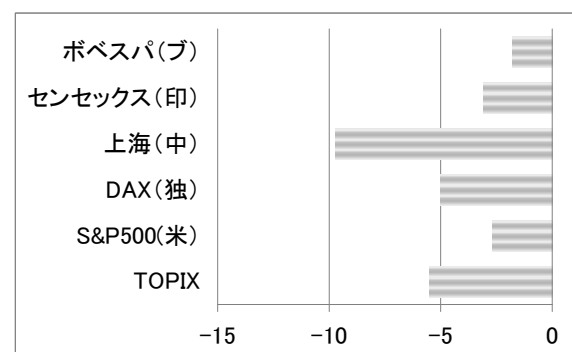
しかし、国内の個人消費、設備投資の伸びが期待外れである現状において、高値を一気に更新するような展開は期待しにくい。そのためには経済指標の好転や、補正予算、追加の金融緩和が待たれる。

資料 各国株価動向

年初来上昇率(% 値は21日引け時点)



前週末比(% 値は21日引け時点)



株式市場需給動向（8月2週：8月10日～8月14日）

8月2週の投資部門別売買動向では、海外投資家が大きく売り越し、個人、投資信託、事業法人、信託銀行などが買い向かう形となった。裁定買い残高は741億円の増加、信用買い残高は555億円の増加となった。

投資主体別売買動向(2015年8月2週)

	現物(億円)	先物(億円)	差引(億円)
自己	207.29	697.28	904.57
委託	-35.94	-880.48	-916.43
自己・委託合計	171.35	-183.20	-11.86
法人	2290.88	297.88	2588.76
個人	807.67	1005.00	1812.67
海外投資家	-3179.12	-2264.87	-5443.99
証券会社	44.63	81.50	126.13
投資信託	109.47	809.95	919.42
事業法人	941.40	-3.47	937.92
その他法人	28.05	0.23	28.28
金融	1211.97	-508.83	703.14
生保・損保	20.22	37.69	57.90
都銀・地銀	-8.37	-114.05	-122.43
信託銀行	1097.00	-449.05	647.94
その他金融機関	103.13	16.60	119.73

(価格データはブルームバーグによる)

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会